

## 広島県立文書館による「古文書解読入門講座」について

(リポーター：T, N)

広島県立文書館による「古文書解読入門講座」は平成2年2月に開講され、これまで多くの方々にご参加をいただきました。この講座は、古文書の解読に興味を持ちながらも、基礎知識がない初心者を対象に毎年6月から10月までの第2・第4土曜日（全10回）に開催されております。

テキストは当館に所蔵されている古文書を使用し、くずし字（草書体）の解読、古文書に使われる文章（「候文」の文体）の読み方、古文書解読の勉強方法などの基本的な知識を勉強していきます。

そのための参考にすべき容易に入手できるくずし字解読辞典、参考書も講義時にご紹介しています。

まず最初に近世武家文書「武家諸法度」から読み進めていきます。最初はほとんど読めないかと思えます。とにかく、努力と根気で一步ずつでも進んで行くことが大切です。

その他にも古文書取扱の講習、文書館業務の紹介、館内見学などもカリキュラムに盛り込んでおります。



講師には4名の当館研究員が交代で担当します。入門講座修了後の新たなご質問にも研究員が対応しておりますので、安心して受講していただくことができます。

講座に7回以上ご出席いただいた方には、修了証をお渡ししております。

また入門講座を修了された方で、引き続き学びたいという方には、次年度に「続古文書解読入門講座」を受講していただくことができます。

それでは、今年度の受講者の皆様に

記載いただいたアンケートの一部をご紹介します。

・「文書の時代背景の解説や資料もテキストに混ぜ込まれており、分かりやすかったです。テキスト量はちょうど良いと思いましたが、もう少し時間をとって解説が追加されたらいいなと感じる時がありました。」

・「初めて古文書に接することができ大変参考になりました。今後の学習に生かしていきたいと考えています。講師の方々の説明は丁寧かつ理解しやすく、ありがたく聴講いたしました。ただ、もう少し1割ほど講座のスピードダウンしていただけたら、良かったかなと思います。」

・「大変興味深い内容でした。テキスト内容、順序（古文書の扱いも含め）、指導などどれも素晴らしく本当に良い講座でした。字を読むことだけでなく（当時の生活・時代背景）言葉などを知ることだと分かり面白く受講いたしました。ありがとうございました。」

また、講座を受講した感想（満足度）を伺ったところ「満足した」が7割、「少し満足した」が3割で、不満をお持ちになられた方はおられませんでした。

古文書を読むということは、その時代背景を推察し、歴史に思いを寄せることができる楽しさがあります。今一度、先人の声に耳を傾けてみてはいかがでしょうか？

この講座が、受講者の皆様にとって実りある学習となり、これを契機に、今後更にこの道に潜心する人の多くあらんことを願ってやみません。

